

1969.7.19.発行 第1号

発行者・明治大学商学部1年7組争議委員会

発行所・明大和泉校舎 414B教室

家への手紙！

あやじさん、お元気ですか。明大は先月21日から無期限ストに、つっています。現在の僕の気持ちをお知らせしたいんです。もちろん、僕を理解してもらえるなんて思っていますが、知ってほしいんです。

明大に入學してから、しばらく考えました。『商学部に入った。これで一生懸命、勉強して公認会計士になるか、一流会社へ就職すれば、おやじ、おふくろはどんなに喜んでくれるか。幸せな家庭を作れば、それで僕はどんなに楽しいかと。

又、おやじさんはよく「今世の中が悪いのはよくわざる。だが、じっとしんぼうしていれば、いずれは春がくる。おとなしく春を待つていいのが人生術というものだ。お前一人がアセッテ専門になる」と言いました。

でも考えて下さい。たゞ程世の中には、そう考えて、じっとひがまんして春を待っている人が多いでしょう。だけど、そんなに待つていらっしゃる人たって、たくさんいるんです。

板力に対して、だまっているのザ一番安全なのかもしれないません。でも、皆がだまってしまったら、どうなりますか。人間に喜びもあれば、怒りもあるんです。

よく、素直になれと言われますが、おやじさんの言う素直とは『俗悪な常識』に対してのことでしょう。僕は若いと笑われてもいい。ドン、キホーテと笑われてもいい。自分の気持ちに忠実でありたい。そのため、限りない自己主張をしたい。

それから、おふくろさん。「必ずしめることはわざらなければ」と、言うけれど、

むずかしいことわざわざ知らないから、そんな自分を恥じて下さい。そして、必ずしめることでもわざるようになって下さい。母性愛ヒサによって、僕の身のまわりの世話をするだけが、おふくろさんの生きがいじゃないと思うんです。

僕は今、明大全共斗の一人です。僕の身を心配してくれるのはありさたいのですが、僕は非常に充実した気持ちで斗争に参加しています。もちろん長伏けば苦しいし、アルバイトもやりたいし、旅行もしたいです。でも、目の前の矛盾を見て見ないふりをするのはもと苦しいです。

僕は正しいことをやっているつもりだし、これからも、精一杯やるつもりです。どうか心配ばなししないで、こんな僕を誇りに思って下さい。では、(ドン、キホーテ)

武装制限令

秀吉 捻書

諸国奥道改、大小橋、コン棒、サイダム、其の他武具のたぐひ所持候事、堅御停止候。其の子細者、入らざる武具とあひたくはへ、其開者出入等を難波せしめ、其館乱入を企、共斗會議に対し非儀の動をなすやがら、勿論御成敗あるべし。-----以下略 (T)

連帶孤立

我が明大が全学無期限バリストに入つて以来約1ヶ月が過ぎました。

本当にちつとも早くクラス幹閑紙を作るべきだったのです。たうなサ落ち着がなくて、数人から受け取った原稿も、ほうっておきました。今日、7月16日にやっと作り始めました。一応、19日に完成の予定です。できるだけ早く君のところへ送ります。

この幹閑紙の目的は、クラ

ス内の意志の疎通を計ることです。そのため是非、君の意見を寄せてほしいんです。長くても短かくてもいいです。

理想を言えば、皆が学校まで来て討論するのがいいんですけど、どうもいかないと思うので----。

お願い！郵送費がかなり必要です。カンペして下さい。又、帰省先を知りさせてくれれば、そちらへ送ります。

オ2号は、いつ出せるかわかりませんが、待っていて下さい。(N)



呻吟錄

多田 和男

僕は見た
血に飢えた鬼を
今日も若者の生血を求めて
暗い暗い鉄格子の中に友を連れ去り
貶し、躊躇り、虐げ、そして生血を吸う
ああ、苦しい苦しい
昨日も我等の友が逝った
今日も我等の友が逝った
明日も誰かが逝くだろう
狂気の鬼は今日も町の中を歩く
大手を振り、大足を投げ出す
その鬼に誰も抵抗できない
抵抗した者は全て鉄格子の中に入れられる
連れ去られた者は生血を吸われる
生血を吸われた者は逝くだろう
逝った同志の呻き声が聞こえる
苦しい、苦しい、ああ苦しい

ク月17日、午前6時、松動隊・私服あわせて約200名ザ和泉校舎へ乱入した。10日以上も前にあったゲベルトの証拠固めという名目で。

特動隊は退去命令も出さず全く不意に入ってきたので全員逃げられず、約1時間半、「捜索」が終るまで監禁状態におかれ、住所・名前を調べられ、厚真をとつていった。

又、この「搜查」により、事件とは全く関係のない我ガクラスの旗やヘルメットはもちろん、私物（金・本・ガバン・ラジオ etc.）まで持ち去られた。

我々は、この機会をひや
リ方に対し、断固抗議する。

4|4 B ^

討論をしに！
カンパをしに！
差し入れをしに！

「亂入」

多田 和男

私は處女を奪われた
昨日まで清らな肉体だったのに
突然、部屋に乱入した鬼によって
無惨にも私の純潔は奪われた
その鬼に何等の抵抗もできなかつた
帽子も奪われた
バットも奪われた
お金も奪われた
私はあの鬼を恨む、憎む
私はあの鬼を恨みつづけるだう
私はあの鬼を憎みつづけるだう
私はあの悪夢の一月を決して忘れないだう



中教審・大学立法と 明大斗争の関係

我々が大学立法に反対したのは、ただ法案の一字一字を拾い上げてケチをつけるという技術的な反対だけではなく、大学立法の背景（'62年に大学管理法案が出されたことetc.）に対して反対しているわけではならないということだった。

そこで明大斗争のスローガンのうち、「学生部と処分制度の廢止」が過かび上へくる

学生部の問題は、以上から
学生部長が廃止の方向で努力
す」と言いながらも、今だに
存在しつづけている。

又、現在の処分制度は教授会が全てを決定てしまい、被処分者の言い分は聞いても

うえないといふ欠度裁判であり、正に中教審の年差いた先生方々大喜びしそうな解説である。

つまり中教審議中に書いてある「学生は教育される者である」と同じ形態が学内に存在している。

それ故、大学立法を日会で
粉碎するだけで学内でも同じ内
容の制度を認めることは非常
な孟陋である

我々は大学立法を粉碎する
と共に我が内なる教養大學
=明大さも解体していかなければ
ならぬ。(解体とはつぶ
せばいいというんではないが)
(ドン・キホーテ)

酔ってないかぬ酒田さん

甘くはないがね砂糖さん